

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 6 月 17 日	
所属部局・職	理学研究科修士課程学生
氏名	Shuhei Hirota

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
日本・京都	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
ゲノム実習 (キノコ班)	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 6 月 2 日 ~ 平成 26 年 6 月 5 日 (4 日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学 布施静香博士	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。          別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>今回の実習では、屋久島から採集したキノコのサンプルから DNA を抽出し、DNA バーコード領域を PCR により増幅し、シーケンスすることで、隠蔽種の同定や、バーコード領域が Gene Bank へ未登録なものについては登録を目指すなどの作業を行った。これにより、形態からは同定が困難だったサンプルの種が同定された。また、キノコの遺伝子データベースはまだより多くのデータを必要としているらしいので、今回の実習で得られたデータはそれに貢献するものであったと思っている。          学んだ解析方法は自分のこれからの研究にも役に立ち得るものであり、非常に有意義な実習だったと感じている。</p>	
	
<b>6. その他</b> (特記事項など)	